

平成25年第2回羅臼町議会臨時会（第1号）

平成25年11月18日（月曜日）午前10時開議

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 諸般の報告
日程第 4 町長行政報告
日程第 5 議案第48号 平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算
-

○出席議員（10名）

| | | | | | |
|----|-----|-------|-----|----|-------|
| 議長 | 10番 | 村山修一君 | 副議長 | 9番 | 松原臣君 |
| | 1番 | 湊屋稔君 | | 2番 | 田中良君 |
| | 3番 | 高島讓二君 | | 4番 | 高村和史君 |
| | 5番 | 小野哲也君 | | 6番 | 坂本志郎君 |
| | 7番 | 鹿又政義君 | | 8番 | 佐藤晶君 |

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条により説明のため出席した者

| | | | |
|---------|-------|--------|--------|
| 町長 | 脇紀美夫君 | 副町長 | 鈴木日出男君 |
| 教育長 | 池田栄寿君 | 企画振興課長 | 久保田誠君 |
| 総務課長 | 太田洋二君 | 税務財政課長 | 高橋力也君 |
| 税務財政課参事 | 櫻井房雄君 | 建設水道課長 | 北澤正志君 |
| 学務課長 | 中田靖君 | | |

○職務のため議場に出席した者

議会事務局長 寺澤哲也君 次長 丸山晃君

午前10時00分 開会

◎開会・開議宣告

○議長（村山修一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は10人です。定足数に達しておりますので、平成25年第2回羅臼町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（村山修一君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第116条の規定によって、1番湊屋稔君及び2番田中良君を指名します。

◎日程第2 会期の決定

○議長（村山修一君） 日程第2 会期決定の件を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期については、議会運営委員会で協議をしていただき、本日1日にしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山修一君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第3 諸般の報告

○議長（村山修一君） 日程第3 諸般の報告を行います。

羅臼町監査委員から例月出納検査の結果について報告がありました。資料は、議長の手元で保管しています。

これで、諸般の報告を終わります。

◎日程第4 町長行政報告

○議長（村山修一君） 日程第4 町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許します。

町長。

○町長（脇 紀美夫君） おはようございます。羅臼町の前浜も、いよいよ終盤を迎え、特にイカ漁においては、現在、46億円を超えるという大漁に恵まれ、まことに喜ばしい限りであります。そのような状況にありまして、きょう、臨時町議会を開催いたしましたところ、全員の御出席をいただきましたことを御礼を申し上げる次第でございます。

お許しをいただきましたので、1件の行政報告をさせていただきます。

秋の叙勲受章についてであります。

平成25年、秋の叙勲におきまして、元羅臼町議会議員の山下崧氏が旭日双光章を受章されました。山下氏におかれましては、昭和50年5月に町議会議員に当選以来、平成23年4月までの9期36年の長きにわたり在職され、在職中は産業常任委員長、総務文教常任委員長、議会運営委員長等を歴任し、高邁な政治信念を持って議会の円滑な運営に尽力され、羅臼町の振興発展に多大な貢献をされた功績が認められ、このたびの受章となったものであります。

次に、現羅臼町商工会会長阿部満晴氏が旭日単光章を受章されました。阿部氏におかれましては、昭和44年に初代羅臼町商工会青年部長に就任後、昭和47年から商工会理事、平成12年4月からは、現在まで商工会長として、さらには平成18年から根室管内商工会連合会会長として、商工会組織の基盤確立、拡充強化に尽力し、地域経済界のリーダーとして地域商工業の振興発展に多大な功績が認められ、このたびの受章となったものであります。

お二方の栄誉はもとより、当町にとりましてもまことに名誉なことであり、町民とともに祝福を申し上げます。

以上でございます。ありがとうございました。

○議長（村山修一君） これで、行政報告は終わりました。

◎日程第5 議案第48号 平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

○議長（村山修一君） 日程第5 議案第48号平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（脇 紀美夫君） ただいま上程されました議案につきましては、平成25年度の一般会計の補正予算でございます。補正予算の内容につきましては、後ほど副町長をして説明いたさせますけれども、この補正予算につきましては、中学校の耐力度調査の補正でございます。

中学校の改築につきましては、以前から検討を重ねてきたところでありますけれども、本年5月1日に、議会の皆さんの懇談会の中で、私のほうから一定の方向性を示させていただいたところであります。その中にありまして、現在の春松中学校、羅臼中学校、それぞれ閉校し、新しく新設校1校を建設すると、そして、町民合意を得られる作業を進めると、26年から29年度に改築を計画したいということ、財源は、その時点では、総事業費の2分の1は基金で確保する、その基金の目標額は8億円ということ、補助金は5億円と、さらに、起債を2億円程度ということでお話をしたところでありまして、加えて、中学校の教育施設としての支障のない範囲内において、防災機能も兼ねた施設整備をしたいということ、そのことによって、場所については、現羅臼中学校の敷地内としたいという方針を示させていただきながら、その後、町内のいろいろな関係機関、団体等に説明をし、今日までに至っておりますけれども、その間、町民の皆さんからいろいろな御意見いただきながら、最終的には場所についても、おおむね、私としてはこの方向で御理解をいただいたということで判断したところであります。したがって、今回、耐力度調査ということによって、この後、国の補助金等の申請の日程等もございますので、今年度中に耐力度調査を終えて取り進めてまいりたいと思っておりますので、その点御理解いただきたいと思うわけであります。

以下、詳細については副町長から説明いたさせます。

○議長（村山修一君） 副町長。

○副町長（鈴木日出男君） 議案の1ページをお願いいたします。

議案第48号平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算。

平成25年度目梨郡羅臼町の一般会計補正予算は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ682万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ34億8,622万4,000円とする。

2項は、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

2ページをお願いいたします。

第1表、歳入歳出予算の補正でございます。

歳入。

18款1項繰越金、682万5,000円を追加し2,162万2,000円。

歳入合計は、682万5,000円を追加し34億8,622万4,000円。

歳出でございます。

8款教育費、682万5,000円を追加し2億7,163万円。3項中学校費、682万5,000円を追加し3,592万1,000円。

歳出合計、682万5,000円を追加し34億8,622万4,000円。

4ページでございます。

事項別明細書の説明をさせていただきます。

歳入でございます。

18款1項1目繰越金、682万5,000円の追加でございます。補正の財源を繰越金に求めたものでございます。

6ページをお願いいたします。

歳出でございます。8款教育費3項中学校費3目学校建設費、682万5,000円の追加でございます。このことにつきましては、前段、町長のほうからお話ございましたとおり、中学校の1校化ということで、現羅臼中学校敷地内に新設校を建設するというところでございまして、したがって、この建設場所を羅臼中学校敷地内とすることから、現在の羅臼中学校の校舎の耐力度調査をするということでございまして、その委託料として682万5,000円を追加するものでございます。

なお、これまで各常任委員会でお話をさせていただいておりました内容につきまして、耐力度調査の必要性、あるいは調査の方法について、それぞれお手元に参考資料として配付をさせていただいておりますので、参考としていただきたいというふうに思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（村山修一君） 説明が終わりましたので、質疑を許します。

4番高村和史君。

○4番（高村和史君） 今回上程されました、中学校の建設に要する経費、中学校校舎耐力度調査委託費の関係で、ちょっと質問をさせていただきます。この耐力度調査を実施して危険改築事業の対象となった場合の、この調査の結果に有する期間、これはどのくらいの日数を見られるのか、御回答願います。

○議長（村山修一君） 副町長。

○副町長（鈴木日出男君） この後、この補正予算が議決をいただきますと、入札の執行をしてまいりたいというふうに思っております。工期につきましては、年度内の3月31日ということをご想定をしております。

以上でございます。

○議長（村山修一君） 高村君。

○4番（高村和史君） 今、町長から概要説明がございました。それで、この中学校の建設予定スケジュールの中身で、ちょっと質問させていただきます。

まず、耐力度調査、地質調査、この資料を見てもらったほうがいいな、出ていますね。平成25年に、まず耐力度調査をやります。そして、平成26年度に地質調査、2番目に基本設計発注の準備をいたします。3ではありませんけれども、基本設計に入ります。そして、27年度に実施設計発注の準備に入ります。そして、実施設計に入るという流れになっているようでございます。この段階で、今回答がありました、平成26年の3月31日にその結果が出るということになりますと、ここで、先ほど、基金の関係がありました、国庫補助5億円、起債3億円、建設積立等が約8億円というお金でございますけれど

も、もしか、この補助金が、今回上程されました結果、可決されるとしたならば、私は、ここの部分を聞いておきたいなと思います。今言いました、地質調査から実施設計までのこの区間に、またこれはお金が当然かかる事業だと思うのですけれども、これは町単費なのか、また、起債なのか、建設資金からの繰り入れなのか、これは、あくまでも補助金の関係にはならないですね。補助金の申請手続がその後に入るものですから、そのときまた補正という形で出されるのか、もしくは、補正という形で出されるのであれば、どのような形の中で一括して出していくのか、その都度、都度出していくのか、そこら辺の今後の財政スケジュールなどもちょっと聞かせていただければありがたいなと思います。お願いします。

○議長（村山修一君） 副町長。

○副町長（鈴木日出男君） ただいまの質問でございますが、平成26年度の予定をしております地質あるいは基本設計につきましては、当初予算で計上が可能かどうかということも含めて、今後、精査をしなければならないというふうに思っております。耐力度調査、進行しながらの来年度予算の編成が始まりますので、これを、今後の状況を見ながら、果たして地質調査等が当初予算に計上できるかどうかということをも十分検討しなければならないというふうに思っております。これができるとすれば、当初予算に計上したいということも考えておりますし、それがかなわないとすれば、補正予算の中で、またお願いをしていかなければならないというようなことを現在考えております。

以上です。

○議長（村山修一君） 高村君。

○4番（高村和史君） 大体、大枠ではわかるのですけれども、私が言いました地質調査から実施設計までのここら辺の予算組みというのは、ここに予算が計上されている以上は、ある程度のつかみがあるから、ここに計上されていると思うのですけれども、そこら辺の、大体、予算はどのくらい考えていらっしゃるのですか。

○議長（村山修一君） 副町長。

○副町長（鈴木日出男君） ただいまの、耐力度調査の予算のことでしょうか、全体的な予算ということ。

○議長（村山修一君） 高村君。

○4番（高村和史君） 私が言っているのは、今の耐力度調査のほうは今議会でもまだ可決されていない部分です。もしか可決をされた場合の話进行を想像しています。もしか想像されたならば、地質調査、さっき言った基本設計発注準備だとか基本設計だとか、実施設計の発注準備、実施設計に入るわけですね。ここら辺の予算というのは、どう捉えていますかと。大体、予算額、大枠でいいのですけれども。また、それを、このような補正、補正という形をとるよりは、どのような形で出される、まず、そこら辺の認識を聞きたい。

○議長（村山修一君） 副町長。

○副町長（鈴木日出男君） 先般の合同常任委員会の折に説明をさせていただきましたけ

れども、今後における概算工事と、工事費ということでお示しをさせていただきました。これにつきましては、担当プロジェクトもございまして、あるいは建築担当のほうで、これまでの実績等の、既に終わっている学校等のことも鑑みながら、大体の、おおよその概算ということで示させていただいておりますので、その辺は御理解をいただきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（村山修一君） ほかにございませんか。

1 番 湊屋稔君。

○1 番（湊屋 稔君） 内容というよりも、今回、この耐力度調査をすることによって、これから新しい中学校の建設に向けて進んでいくのだらうというふうに思います。私自身も、中学校も、一日も早く、環境のいい中学校で学生たちが勉学に励んでいただきたいというふうに思っておりますけれども、今回の耐力度調査をすることによって、必然と場所の選定が決まっていくというような内容であろうかというふうに思います。

そこで、いま一度、町長のお考えをお伺いしたいなというふうに思っておりますけれども、今回、この中学校建設に当たっては、多分、半世紀にわたって使用できる中学校の建設にならうかというふうに思います。また、概算でしょうけれども、15億円とも言われているような規模の投資をしていかなければいけない。これは、当然、町民の浄財も含めて考えていかなければいけないことでもありますから、ここで確認をさせていただきたいのですけれども、いろいろ町民の説明ですとか、町民への説明会、それから、議会への説明会行ってきましたけれども、現中学校の敷地内に、その場所については、多分、町長の専権事項なのですね、きっと。そういうことですものね。ですから、ただ必然的に決まるということで、その部分で言うと、多分、時間をかけ、いろいろな協議をしながらじっくり熟慮されて、あの場所ということになったのだらうけれども、ほかにも候補地があったらうし、また、違うところの声も町民からも上がっていたということも聞いております。町長として、これがベストなのか、ベターなのか、場所について。それから、あその場所で進めていくということについて、町長の決断された信念をもう一度お伺いしたいなというふうに思います。

○議長（村山修一君） 町長。

○町長（脇 紀美夫君） ただいまの質問であります。場所の問題だというふうに思っております。先ほどお答えした何点かの中で、最終的に場所をどうするかということ、これについては、教育委員会との懇談会の中では、私は、場所についてはさらに熟慮を要するという事の中で、最終的に、議会の皆さんに、5月1日段階で場所の方向を示したということでもあります。そこに至るまで、当然、いろいろな、教育関係者あるいは教育委員会等々で議論を重ねてきたところでありまして、中には、いろいろな場所が、町内で何カ所か候補というか、こういうところはどうかのらうという話は当然ありました。それを一つ一つ検討していく中で、一日も早くということの実現が果たしてできるのかどうか。そ

れから、その、私が今やろうとしているところの場所以外でやった場合に、どれだけの時間が、整地と、あるいは造成にかかるのか。その場所が、果たして町有地として確保できているのかどうか、さらには、それを造成することによる時間と、さらに造成するその費用も含めると、ここ何年間では、今の場所以外であれば、なかなか、そういうことについてのクリアができないという判断の中で、では、町内の中において、どこが一番残る場所としてあるのかということの、いろいろ検討した結果、最終的に、今提案しようとしている場所だということに行き着いたところでございます、当然、その中には、教育施設がメインではありますけれども、先ほども言いましたように、できれば防災機能もということもそこに加わって今の現在地に至ったという決断をしたところでありますので、何分の御理解をいただきたいと思うわけであります。

○議長（村山修一君） ほかにございませんか。

2番田中良君。

○2番（田中 良君） 今の質問に続きまして、ちょっと質問をさせていただきたいと思っております。

今、町長から答弁いただいたとおり、現在、町長のお考えの中で、今の羅臼中学校が一番適切な場所だという判断をしたということは私も理解しております。ただ、それにつきまして1点だけ、現在の羅臼中学校というのは、校舎は確かに、敷地面積は何とかなります。周りのグラウンドとか、ほかに所有する施設につきまして、現在の段階では狭い状態になっていると思われるのですよ。今の新規格によりますと、グラウンドがちょっと狭いという形になるのですけれども、今度の新校舎につきまして、十分そこに対応できるだけの敷地があるという判断をしたかどうかの確認を1点お願いしたいのと、あと、先ほど町長が申していた中で、もう1点。防災施設も確かに重要ですが、私たち、合同委員会の中でも述べたように、やっぱりほかに使えるような、複合施設の考え方もひとつ含めていただきたいなということをお願いしたいと思っております。

○議長（村山修一君） 町長。

○町長（脇 紀美夫君） 敷地の問題でありますけれども、もちろん、この後いろいろな基本設計をしていく中で、今の敷地の中でもっておさめられるという判断の中で敷地を選定したというふうに私は判断しているところであります。

それから、ほかの複合的な教育施設ということでもありますけれども、御案内のとおり、羅臼小学校も春松小学校も、一般の方が使えるようにという多目的なスペースも含めて、あるいは、陶芸であるとか、そういう町内会の人たちもある程度利用できるということにしておりますので、その点、観点も踏まえながら、基本設計に配慮してまいりたいと思っております。

○議長（村山修一君） 田中君。

○2番（田中 良君） ぜひ、今おっしゃったとおり、いろいろなことの配慮を十二分にさせていただきたいと思っております。先ほど湊屋議員が言ったように、建物一つつくりますと、

最低限、半世紀使う形になります。ましてや、これから、うちのまちも過疎化が少し進む可能性がありますので、子どもたちとか最良の形をつくっていただきたいということを願うわけです。あえて、あそこの場所はやっぱり高台という、ちょっと不便な敷地内にあります。いろいろな検討が今後必要になってくると思うので、その辺はまた私のほうからも提案させていただきたいと思いますので、ひとつ町長の考え方を、皆さんの意見を吸い上げられるような状態をとっていただきたいと思います。ひとつよろしくお願いします。

○議長（村山修一君） ほかにありませんか。

6 番坂本志郎君。

○6 番（坂本志郎君） 前段、同僚議員からの質問と重複するところが幾つかあろうかと思えますけれども、今回、約800万円の補正予算の800万円といえど、総額で10億円強かかる中学校の建設について、これから決議をすると、そういう重い補正予算だろうというふうに思っています。

場所の選定につきましては、この間、町長からも、あるいは副町長、教育長からも、質問を何度も受けていまして、あの期間の中の検討では、私はベストとは思いませんが、ベターなのだろうと。特に、私の判断材料としては、一番高い場所ですから、防災上の拠点とか基地として考えたときに非常に有効だ。ただし、いろいろ気になったのは、同僚議員からもありましたけれども、スペースの問題であるとか、あるいは全体のコストの問題であるとか、こういうことがちょっと気になっておりました。

質問なのですが、予算の関係で一、二点質問したいと思うのですが、参考資料では合計で約16億円くらいだということなのですが、合同常任委員会でも申し上げましたけれども、恐らくこの後また追加、追加で、相当プラスになるだろうということは当然予測されることであります。この財源内訳の中で、積立基金が約8億円ということです。一つ目に、まずお答えいただきたいのですが、スケジュール的に言いますと、25年度現在の基金残高と、あと、何年間でこの8億円まで持っていくのか、まずそのことだけちょっとお答えください。

○議長（村山修一君） 町長。

○町長（脇 紀美夫君） 基金のことですけれども、先ほど、私が26年から29年に建設してまいりたいということの中で、既にもう基金を造成している最中でありまして、25年末、今年度末で4億7,000万円という見通しであります。したがって、私の今の考え方では、毎年1億円ずつ積み込んでいけば、当初予算で積み込んでいきたいという中で、26年、27年、28年、29年と、4億円ということになりますから、順調にいけば8億7,000万円ということになるわけでありまして、先ほど坂本議員から御心配のように、当初、私が5月の段階で申し上げたときは約10億円ということをお申し上げしましたが、その後、時間を精査する中で、現時点では16億円ほどという概算の数字であります。したがって、心配されるように、あるいは、状況によってはさらに上回る可能性もないわけではないと。しかし、何とかこの16億円の中でおさめたいという思

いでありますけれども、基金としては、そういうことで考えているところであります。

○議長（村山修一君） 坂本君。

○6番（坂本志郎君） 現在、約5億円弱ということで、4年間で1億円ずつということですね。私、この1億円という、1億円ずつ来年から4年間という、大ざっぱな計画でしょうけれども、我がまちの一般会計、三十四、五億円ですよ。そういう意味で言うと、特会、企業会計除いてですね。一般会計から積み立てていくということになると思うのですが、34億円くらいの1億円というのは。パーセントにしたら2.8%くらいになるのでしょうか。非常に大きい金額です。一方で、これらが、恐らく、今想定するだけでもさらにふえていく、総額がですよ。考えたときに、4年間にわたって一般会計から1億円ずつ抜いていくということは、本来1億円分やらなければいけないところを我慢してもらおうという状況がきっと生まれるのではないかなと。ここのところを心配してまして、あと足りなくなった分は補正で処理するということになると思うのですが、はっきりしているのは、来年度から毎年約1億円ずつの基金の積み立てに入ることですから、この分が、約2.8%分が、町民の暮らしにどのくらい影響するのか、ちょっとよくわからないところもありますけれども、中学校は、みんなが早く建てたいという、ある意味で希望していたものですから、これはやらなければいけないというふうに思いますけれども、予算とはいえ、精査をきちんとして、町民の負担にならないように、あえて言うならば、有利な債権、過疎債を使うということもあろうかもしれませんが、これもやっぱり、一部は借金になるわけで、そういう意味で言えば、今、大ざっぱに約16億円くらいのざっくりした数字が出ていますけれども、予算化というか、実際に執行する上で、シビアに予算組みしていただきたいということを申し上げたいと思います。

以上です。

○議長（村山修一君） 町長。

○町長（脇 紀美夫君） 今、坂本議員から、やらなければならない事業も確かにある中で、私は、現時点で、この中学校の建設が最優先としてやらなければならない事業だというふうに判断しているところでありまして、今までも申し上げたように、あれもこれもということから、選択と集中という観点の中で、今回のこういう大きなプロジェクトに着手しようとしているわけでありまして。したがって、それによって、当然、今言われたように、一般財源1億円ですから、いろいろな点でもって、もし、中学校がないとするならば、別なほうのいろいろな政策予算もできたでしょうけれども、そこはひとつ町民に理解していただきたいと思うわけでありまして。

以上であります。

○議長（村山修一君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（村山修一君） ないようですので、これで質疑を終わります。

これから、議案第48号を採決します。この採決は起立によって行います。

議案第48号平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（村山修一君） 起立総員です。

したがって、日程第5 議案第48号平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算は、原案のとおり可決されました。

◎閉会宣告

○議長（村山修一君） これで、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成25年第2回羅臼町議会臨時会を閉会します。

ありがとうございました。

午前10時34分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長

議 員

議 員